

SUL1部 – 第10節



松山大学 2(0-1)5 聖カタリナ大学



試合は序盤、出足の良い聖カ大が13分右サイドで押し込むと⑩青柳から⑧児玉へと繋ぐとミドルを決めて先制して前半を優位に進める。

後半早々1分、松山大は左サイドから持ち上がった⑭加藤のシュートをGKがハンプルしたところを逃さず⑧須賀が押し込んで同点とする。聖カ大は72分左サイド深くを⑫三上がえぐると⑩玉井が合わせて追加点をあげると75分にもこぼれ球を⑭梶原がミドルを決める。松山大は81分③篠崎がGKの頭上をループで決めて1点差とするも、聖カ大は85分⑧児玉、⑩玉井に決められ万事休す！



愛媛大学 1(0-0)3 高知大学



入替戦が決まった愛媛大と4位聖カ大が勝利で引き分け以上が求められる3位高知大の一戦は、キックオフと同時に降り出した大雨が両チームのプランを狂わせる。

先にスコアを動かしたのは愛媛大！63分⑦清水の右CKを③坂田が高い打点のヘディングで先制！負けられない高知大は75分⑨広沢が一度はGKに防がれるも頭で押し込んで同点とすると81分⑪大平のアーリークロスから⑩岩市が見事に取めて追加点！最後は90+3分⑭笹岡がドリブルでDFを揺さぶってからのミドルで勝利し、高知大は3位でリーグを終えた。



高松大学 0(0-0)1 四国学院大学



引き分け以上で優勝が決まる高松大と絶対勝利の2位四国学院大の最終節にして優勝を決定する大一番！キックオフとともに降り出した大雨のなか互いのプライドがぶつかり合う。前半は、攻守の入れ替わりが激しい展開でゴールに迫るもスコアレスで折り返す。

均衡が崩れたのは73分 四学大は左サイドで展開すると⑦熊野のクロスを⑨室が頭で合わせて先制する。負けられない高松大はプレスのテンポを高めるも得点をあげられず試合終了！四国学院大が逆転優勝とともに全日本インカレの出場権を獲得した。



<リーグ総括>

高松大は、開幕から得点王の矢野佑を筆頭に圧倒的な得点力でリーグ序盤を牽引！四学大は、監督不在で開幕を迎え、4節で榮井新監督を迎える。前期よりも自信を持って望む高知大、聖カ大が勝点を伸ばすも優勝の行方は高松大と四学大に絞られる。最終節、前期に続きシーズンダブルで勝利した四学大が逆転優勝！この試合でアシストした四学大の熊野はアシスト王を獲得！全国での活躍を期待したい。